

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)吉田商業株式会社 京田辺工場 新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

配座項目		環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
			評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質							2.4
Q1 室内環境							
1 音環境			2.2	0.15			2.2
1.1 騒音			3.0	0.40			
1.2 遮音			2.2	0.40			
1 開口部遮音性能			3.0	0.60			
2 界壁遮音性能			1.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音			1.0	0.20			
2 温熱環境			1.3	0.35			1.3
2.1 室温制御			1.7	0.50			
1 室温			3.0	0.38			
2 外皮性能			1.0	0.25			
3 ゾーン別制御性			1.0	0.38			
2.2 湿度制御			1.0	0.20			
2.3 空調方式			1.0	0.30			
3 光・視環境			3.3	0.25			3.3
3.1 昼光利用			4.2	0.30			
1 昼光率		休憩室:5.91%	5.0	0.60			
2 方位別開口							
3 昼光利用設備			3.0	0.40			
3.2 グレア対策			3.0	0.30			
1 昼光制御			3.0	1.00			
3.3 照度			3.0	0.15			
3.4 照明制御			3.0	0.25			
4 空気質環境			3.1	0.25			3.1
4.1 発生源対策			4.0	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に使用	4.0	1.00			
4.2 換気			3.0	0.30			
1 換気量			3.0	0.33			
2 自然換気性能		休憩室床面積の1/8以上の有効開口面積	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33			
4.3 運用管理			1.0	0.20			
1 CO ₂ の監視			-	-			
2 喫煙の制御			1.0	1.00			
Q2 サービス性能				0.30			2.9
1 機能性			2.5	0.40			2.5
1.1 機能性・使いやすさ			2.3	0.40			
1 広さ・収納性			3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応			1.0	0.33			
3 バリアフリー計画			3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性			2.3	0.30			
1 広さ感・景観			3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース			3.0	0.33			
3 内装計画			1.0	0.33			
1.3 維持管理			3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性			3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震			3.0	0.50			
1 耐震性			3.0	0.80			
2 免震・制振性能			3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数			3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:VLP、汚水・雑排水:VP、消火:SGP(白)、給湯:SUS	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20			

2.4 信頼性				2.5	0.20			
1	空調・換気設備			3.0	0.25			
2	給排水・衛生設備			1.0	0.25			
3	電気設備			3.0	0.25			
4	機械・配管支持方法			3.0	0.25			
5	通信・情報設備			-	-			
3 対応性・更新性				3.4	0.30			3.4
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30			
1	階高のゆとり	1階:8.5m、2階:4.88m		5.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.11		4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30			
3.3 設備の更新性				3.0	0.40			
1	空調配管の更新性			3.0	0.22			
2	給排水管の更新性			3.0	0.22			
3	電気配線の更新性			3.0	0.11			
4	通信配線の更新性			-	-			
5	設備機器の更新性			3.0	0.22			
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.22			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40			2.1
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性								3.1
LR1 エネルギー				-	0.40			3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制				-	-			2.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.13			3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 1.00 住宅(専有部) -		3.0	0.63			3.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)				3.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)				-	-			
4 効率的運用				3.0	0.25			3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00			
4.1	モニタリング			3.0	0.50			
4.2	運用管理体制			3.0	0.50			
集合住宅の評価				-	-			
4.1	モニタリング			-	-			
4.2	運用管理体制			-	-			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30			3.4
1 水資源保護				3.0	0.20			3.0
1.1 節水				3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減				3.7	0.60			3.7
2.1	材料使用量の削減			2.0	0.11			
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.22			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材、ビニル床タイル、ビニル床シート		5.0	0.22			
2.5	持続可能な森林から産出された木材			-	-			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS下地、打込み配管・配線無し		5.0	0.22			
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1	消火剤			-	-			
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			
3	冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				-	0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮				3.0	0.33			3.0
2 地域環境への配慮				3.4	0.33			3.4
2.1 大気汚染防止		燃焼機器無し		5.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.6	0.25			
1	雨水排水負荷低減			-	-			
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.33			
3	交通負荷抑制	駐車場、駐輪場、搬入ヤードの確保		4.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33			
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			
1	騒音			3.0	1.00			
2	振動			-	-			
3	悪臭			-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			
1	風害の抑制			3.0	0.70			
2	砂塵の抑制			-	-			
3	日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制				3.7	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明無し、ガイドラインに沿った屋外照明		4.0	0.70			
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			